

令和3年12月23日

国技館 5000 人の第九コンサート復活への第一歩！ ～国技館 5000 人の第九コンサートのレッスン動画公開～

「国技館 5000 人の第九コンサート」（※1）は、昭和 60 年 2 月に国技館歓迎祝賀行事として開催以来、全国の音楽と第九を愛する仲間たちが集う、すみだの早春の恒例行事となっていた。

しかし、新型コロナウイルスの影響により中止を余儀なくされている。度重なる中止により「ファンが離れてしまうのではないか。」「練習機会がなくなり声が出なくなってしまっているのではないか。」という声が多く上がった。

そこで、墨田区と国技館すみだ第九を歌う会は、この機を合唱における基本を見直し、歌唱力の向上に向けた練習を行うチャンスと捉え、「誰でも、いつでも、どこでも視聴できる」レッスン動画の作成に取り組み、本日から動画の一部を公開する。

今回の動画作成は、「国技館 5000 人の第九コンサート」の練習会において長年指導していただいている栗友会（12 の合唱団で構成、音楽監督兼指揮者：栗山文昭先生※2）、歌う会の会員等と連携して実施した。

この動画には、東京交響楽団など数多くの楽団で活躍されており、過去 8 回当該コンサートの指揮者であった大友直人氏（※3）から、「皆さんと一緒に国技館で壮大な一体感を体験することを楽しみにしている。」というメッセージを収録している。

練習用の動画では、発声発音の練習、合唱の全体練習及びパート別練習を字幕付きで解説しており、初心者でも学びやすい動画になっている。

今回の動画配信によって区及び歌う会は、音楽と第九を愛する方が「国技館 5000 人の第九コンサート」に思いを馳せ、第九を歌う喜びを分かち合い、コンサート再開までの期間を充実して過ごすことを期待している。

【公開日】第一弾：令和3年12月23日（木）から次回のコンサートを開催するまで
（一部公開）①オープニング動画 ②全体練習前半・後半

※過去の会員である令和元年コンサート会員へ動画の公開情報を郵送している

第二弾：令和4年1月31日（月）から次回のコンサートを開催するまで
（完全公開）③ウォームアップ ④発音練習 ⑤パート別練習（ソプラノ・アルト・テノール・バス） ⑥エンディング動画

【視聴方法】①のオープニング動画は、YouTube において一般公開を行う。

②の全体練習前半・後半から、⑥のエンディング動画までは「国技館すみだ第九を歌う会」ホームページ (<https://www.5000dai9.jp>) のトップページ画面上部「レッスン動画」をクリックすることでレッスン動画の選択画面が表示されるので、見たい動画を選択して視聴することができる。

【問合せ】文化芸術振興課文化行事担当 Tel 5608-6180

国技館すみだ第九を歌う会

Tel 5608-1611（火・水・木曜日の10時～16時まで）

公式ホームページ <https://5000dai9.jp>

※1 国技館 5000 人の第九コンサート

主催：国技館すみだ第九を歌う会・墨田区（共催）

開始：（昭和 60 年）1985 年 2 月

国技館が現在の両国に竣工されることの歓迎祝賀行事メインイベントとして、国技館 5000 人の第九コンサートは開催された。そして、第 1 回コンサートが大成功をおさめた結果、その時の演奏の感動と喜びをより多くの人々に伝え広めるために、翌年以降も開催を続けることとなった。

特徴：合唱参加者は全国各地から一般公募によって集まり、海外からの参加もある。現在の運営主体である国技館すみだ第九を歌う会は、営利事業ではなく非営利の文化事業として本コンサートを運営することを目的としており、コンサート本番、日々の練習会の開催ともに合唱参加者である歌う会の会員がボランティア形式で運営に携わっている。

※2 合唱指揮 栗山 文昭

現在 12 の合唱団を有する「栗友会」の音楽監督及び指揮者として、また、21 世紀の合唱を考える会合唱人集団「音楽樹」芸術顧問として活動している。

国技館 5000 人の第九コンサートでは第 11 回から 26 年連続で合唱指揮を務めている。

※3 指揮者 大友 直人

桐朋学園在学中に 22 才で NHK 交響楽団を指揮してデビュー以来、日本の音楽界をリードし続けている我が国を代表する指揮者の一人である。

国技館 5000 人の第九コンサートでは、第 11 回～第 16 回、第 34 回、第 35 回コンサートの計 8 回出演している。

① レッスン動画イメージ（オープニング）



② レッスン動画イメージ（合唱全体練習）



③ 収録の様子



④ 打合せの様子

